

ツキノワグマ

島根県のツキノワグマは、広島、山口県にまたがる地域に生息している「西中国地域個体群」に属しており、3県で連携して保護管理に取り組んでいます。一方、他の地域個体群から孤立分布しているため、日本レッドデータブックでは「絶滅の恐れのある地域個体群」とされています。



◇ツキノワグマの一年

<p>冬眠 出産</p> <p>冬眠中は何も食べません。</p> <p>12～4月頃まで冬眠します。冬眠中にメスはふつう2頭の子グマを出産します。</p> <p>冬</p>	<p>体力回復</p> <p>ブナやコナラなどの新芽、ササ、ハナウド、フキなどの草本</p> <p>子グマは1歳半頃まで、母グマと一生に生活します。</p> <p>春</p>
<p>栄養蓄積</p> <p>コナラ、ミズナラ、クリなどの堅果類、クマノミズキ、クロキ、サルナシなどの液果類</p> <p>冬眠に向けてたくさん食べます。十分に栄養をとることができたメスだけが妊娠します。</p> <p>秋</p>	<p>繁殖</p> <p>ハチ、アリなどの昆虫類、ヤマザクラ、クワなどの液果類</p> <p>繁殖期になるとオスが活発に活動するので行動域が広がります。</p> <p>夏</p>

秋期の堅果類などが凶作の年には、餌を求めて人里への大量出沒につながります。奥山での豊かな森林の保全と里山の利用による緩衝帯機能の回復が、人とクマとの棲み分けには必要です。



現在も残るブナなどの原生林(弥畝山)

◇体の特徴

体重: オス60～130kg メス40～80kg (体重は季節によって大きく変動します)
 体長: オス110～130cm メス50～60cm

- 目**
視力はあまりよくありません。
- 口**
噛む力は非常に強いです。
- 鼻**
嗅覚は優れており、犬並ともいわれています。
- 月輪**
白い月の輪は個体ごとに形が異なります。模様がないクマもいます。
- 尾**
短くて目立ちません。
- 脚**
100mを6秒台で走るともいわれています。泳ぐことも得意です。
- 爪**
爪は鋭くて木登りが得意です。クマにとって最大の武器です。

◇主な農作物被害

カキ、クリ、ナシ、モモなどの果実や家畜用の濃厚飼料、養蜂(蜜蝋)などを食害します。ときには、民家の板壁に作ったハチの巣を狙って、壁を壊すこともあります。また、晩秋のカキは、集落への強い誘引物となります。



養蜂蜜蝋への被害



民家壁のハチ巣への被害



ニワトリの被害



カキ木の被害

◇ツキノワグマの被害対策

集落への出没や農作物への被害に対して対策をしないと、クマが繰り返して出没して、集落の誘引物などに執着する悪いクマになってしまいます。

集落内の環境整備

①誘引物の除去

・果実の早期収穫

クマの出没がなくてもできるだけ早く果実を収穫しましょう。

・利用しない果樹の伐採

収穫しない不要な果樹は可能な限り伐採しましょう。

・ハチの巣の除去

住居周辺や軒下などのハチの巣は、専門業者に依頼するなどして除去しましょう。

・生ゴミとコンポストの管理

生ゴミは、野外に放置しないようにしましょう。ただし、生ゴミを堆肥化するコンポストは、環境に配慮した生ゴミ処理器ですが、クマを誘引する可能性が高いため、電気柵で囲うなどの対策をするか、使用しないことをお勧めします。

・食料品やペットフードにも注意！

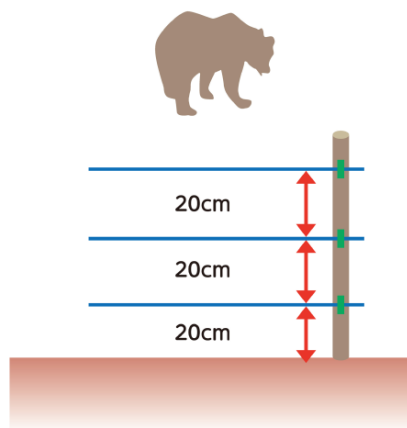
倉庫においた農作物や家畜飼料、犬小屋においたドッグフード、勝手口においた漬物樽などを食害する恐れがあります。これらの食物は、屋内に入れて厳重に管理しましょう。

②クマの侵入を防ぐ

クマの侵入を物理的に防ぐには電気柵が最も効果が高い。ただし、**設置方法に注意して、管理を適切に行うことが必要です。**

カキなどの早期収穫や伐採ができない場合は、樹幹にトタンを巻きつけて、クマが登れないようにします。

***トタンを紐や針金で固定すると爪を引っかけて登ることがあるので、内側に角材などを入れて釘で固定します。**



◇人身被害を防ぐために

～重要なことは、ばったりと出会わないことです～

人の存在をクマに知らせます！

- ①クマは音に敏感なので、鈴、ラジオ、ホイッスル等で人の存在を知らせます。川の近くは音が聞こえにくいので、とくに注意しましょう。
- ②山林や森林付近の農地に出かける際には、音のでる物を身につけましょう。
- ③子グマを見たらその場を立ち去りましょう。近くには、母グマがいるので危険です。
- ④山菜やキノコ採りなどは、周囲への注意力が低下するので、とくに気をつけましょう。
- ⑤西中国山地はクマの生息地です。クマの生息地では、単独行動を避けて、できるだけ二人以上で行動しましょう。



～もし出会ってしまったら～

(野生動物なので、絶対に安全を確保する方法はありませんが、一般にいられている対処法を示します。)

★クマがこちらに気づいていない場合

気づかれないように静かにその場を立ち去りましょう。

★クマがこちらに気づいている場合

ゆっくり後ずさりして逃げましょう。背中を向けて走って逃げると、本能的に追いかけてきます。

★ばったりと至近距離で遭遇

クマから攻撃を加えられそうになったら、受けるケガを最小限にすることが大事です。首、腹部、顔を守るために、両手を首の後ろに回して、うつぶせになるのも一つの方法です。



◇クマの痕跡



糞



クマ棚



爪痕



MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科：鳥獣対策科

問い合わせ先：0854-76-2025（代表）

E-mail：chusankan@pref.shimane.lg.jp